

事業No.	事業名 (措置の名称)	事業内容 (内容)	課題		基本方針		実施方針														行政	管理者	民間	関連機関	その他	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	財源	重点措置		
1	風返稲荷山古墳を中心とした霞ヶ浦沿岸の古墳活用に向けた調査・研究	霞ヶ浦沿岸の古墳出土資料による特別展『霞ヶ浦沿岸の古墳文化』の開催。見学可能な古墳の洗い出し。『古墳を活かしたまちづくり』シンポジウムの開催などを行う。	・個人所有の資料をふくめ、地域資源の価値を正しく把握しきていない		再発見	調査	・個人所有の資料を含め、地域資源の価値を正しく把握する調査を実施する														◎		○	○			○	○									国・市	○	
2	近世から近現代にかけての志士（偉人）の調査・研究	個人が所有する市域の志士（偉人）のに関する地域資源（史跡・文化財など）の調査を行う。その結果をもとに特別展の開催、書籍の刊行を行う。	・個人所有の資料をふくめ、地域資源の価値を正しく把握しきていない ・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理が充分でない		再発見	調査	・個人所有の資料を含め、地域資源の価値を正しく把握する調査を実施する ・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理を実施する														◎	△	○	○	◎			○	○									市	○
3	帆引き船操業の技術を中心とした打瀬網漁の調査・研究	全国各地の打瀬網漁を調査し、操業地の地形や自然環境、打瀬網漁の構造比較、文化伝播の様相などの調査・研究をする。	・個人所有の資料をふくめ、地域資源の価値を正しく把握しきていない		再発見	調査	・個人所有の資料を含め、地域資源の価値を正しく把握する調査を実施する														◎		○	○				○	○								市	○	
4	地域資源の把握とデータベース化	計画的に地域資源（建造物、無形文化財、有形民俗文化財、史跡、名勝地、文化的景観、伝統的建造物群、特産物）の把握調査を実施し、随時、指定文化財の新規選定を行うと共に、地域資源の台帳及び研究成果等の情報を整理し、データベース化を図る。	・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理が充分でない		再発見	調査	・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理を実施する														◎	△		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
5	帆引き船の持続的な活用に向けての調査	帆引き船の持続的な活用に向けての実態把握調査。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会と協働により後継者の育成に努め、後世への継承のための仕組みづくりの調査をする。	・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理が充分でない		守り継承	調査	・地域資源の保護・継承に向けた実態調査及びその成果の整理を実施する														◎	△		○			○	○	○	○							市		
6	地域資源の所在・所有者把握調査	地域資源所有者の変更がされないまま所有者が死去した場合、地域資源の所在が不明にならないため、所有者を把握するための調査をする。	・先祖伝来あるいは譲渡・購入により個人所有の地域資源の、所在、所有者などが完全には把握できていない		再発見	調査	・先祖伝来あるいは譲渡・購入により個人所有の地域資源の、所在、所有者等の把握調査を実施する														◎	○	△	△			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
7	地域資源保護に向けた調査	地域資源の適切な調査、指定、保存措置及びそれに向けての調査をする	・指定文化財の指定後における保存環境調査や劣化度調査などの現状把握調査が充分でない		再発見	調査	・指定文化財の指定後における保存環境調査や劣化度調査などの現状把握調査を順次実施														◎	△	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市		
8	地域資源の保存計画の作成	地域資源の適切な保存計画の作成及び措置を実施する。	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成できない		守り継承	保存	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成し、計画を実施していく														◎	△	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	市		
9	景観の地域資源としての保護・保全	雪入や上佐谷地区の山村、柏崎や牛渡地区の漁村の生活環境と景観、生垣通りが連続する西成井地区などの景観を地域資源として保護・保全する	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成できない		守り継承	保存	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成し、計画を実施していく														◎	△	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	市		
10	筑波山地域ジオパークの保存活用	筑波山地域ジオパーク協議会と連携し、筑波山地域ジオパークが持つ自然や歴史文化を大地の遺産として保護、保全、継承する	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成できない		守り継承	保存	・調査、記録にもとづく適切な、市独自の保存計画を作成し、計画を実施していく														◎	△	○	◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	市		
11	地域資源の的確な保存措置	破損や劣化の危険性がある地域資源の把握調査を実現し、的確な保存措置を実施する	・破損や劣化の危険性のある地域資源に対し、的確な保存措置を実施できない		守り継承	保存	・破損や劣化の危険性のある地域資源に対し、的確な保存措置を実施していく														◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	市			
12	個人所有地域資源の保護に向けての取組	地域資源所有者との連絡、報告体制を強化し、所有者の変更が生じた場合でも地域資源の保護、保全が図られるようにする。	・地域資源所有者が死去した場合、地域資源の保存・保管を継続する仕組みを整備できない		守り継承	保存	・地域資源所有者が死去した場合、地域資源の保存・保管を継続する仕組みを整備していく														◎	◎					○	○	○	○	○	○	○	○	○	市			
13	地域資源保護に向けた調査	地域資源の適切な調査、指定、保存措置及びそれに向けての調査をする。	・破損や劣化の危険性のある個人所有の地域資源に対し、的確な保管処置が実施されていない		守り継承	保存	・破損や劣化の危険性のある個人所有の地域資源に対し、的確な保管処置を実施していく														◎	△	○					○	○	○	○	○	○	○	○	市			
14	地域資源見学者への注意喚起	一般見学者に対して、防火等に関する注意を喚起するための立て札（焚き火・たばこ等の禁止）を設置する。	・地域資源が被災・焼失・損壊した場合、修繕や次世代へ引き継ぐ仕組みができていない		守り継承	防災	・被害が地域資源に及んだ場合の救助体制を整備していく ・地域資源が被災・焼失・損壊した場合の修繕や次世代へ引き継ぐ仕組みを整備していく														◎		○					○	○	○	○						市		
15	地域資源保存施設の防災整備	地域資源が保存されている施設に対し、防災施設・設備（収蔵庫・火災報知器・消火栓・貯水槽・避雷針・耐震化）の整備を図る。	・地域資源が被災・焼失・損壊した場合、修繕や次世代へ引き継ぐ仕組みができていない		守り継承	防災	・地域資源が被災・焼失・損壊した場合の修繕や次世代へ引き継ぐ仕組みを整備していく ・大規模地震を想定した地域資源を保管する建物の耐震化や内水氾濫対策など局所的な対策を整備していく														◎	△						○	○	○	○	○	○	○	○	市	国・市		
16	地域資源を守る保存施設の確保	地域資源を災害から守るための施設の確保をする。	・地震や河川の氾濫等から地域資源を守れる保存場所を確保できない		守り継承	防災	・地震や河川の氾濫等から地域資源を守れる保存場所を確保していく														◎	△							○	○	○	○	○	○	市	国・市			
17	地域資源を次世代へ引き継ぐための仕組みの整備	各種災害等により地域資源が被災しないように対策を整備すると共に、次世代へ引き継ぐための管理体制を整備する。	・地域資源が被災・焼失・損壊した場合、修繕や次世代へ引き継ぐ仕組みができていない		守り継承	防災	・地震や河川の氾濫等から地域資源を守れる保存場所を確保していく														◎		○					○	○	○	○	○	市	市	○				
18	風返稲荷山古墳の活用	風返稲荷山古墳を中心に周辺古墳を含めた古墳マップ（風返古墳群から富士見塚古墳まで）を作成する。主要な古墳をデジタルスタンプラリーへ追加する。湖上から見る霞ヶ浦沿岸の古墳ツアーを開催する。古墳コスプレ・飾り馬乗馬体験・古墳時代の食メニューの開発などを行う。国指定文化財「茨城県風返稲荷山古墳出土品」の支持台及びレプリカの作成と、馬具や鉞大刀など主要なものの展示活用をする。	・歴史情報発信拠点である歴史博物館を有効活用できていない ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない		活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく														◎					△	○	○	○	○						国・市	○		
19	志筑城趾（陣屋跡）の活用	志筑城趾（陣屋跡）をデジタルスタンプラリーへ追加する。志士コスプレ・寸劇会を開催する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない		活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく														◎	○	◎	○				○	○	○	○	○	○	市	市	○			
20	帆引き船と魚食文化の活用	「帆引き船教室」の開催（座学及び小型帆引き船（個人蔵）の操業等）、「帆引き船作品コンテスト」（写真・絵画・工作等）の開催、霞ヶ浦の魚料理コンテスト・料理教室の開催などをする。霞ヶ浦八珍（霞ヶ浦を代表する8種の魚）・世界農業遺産の選定と新しい加工品の開発をする。「畔の駅コハナ」での霞ヶ浦産の魚料理の提案などを計画する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない		活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく														◎		○					○	○	○	○	○	市	市	○				
21	広域連携の形成	近隣自治体と合意を形成するため、定期的な会合を実施する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない		活かす	活用	・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく														◎	○	○					○	○	○	○	○	市	市					
22	歴史博物館でのICT技術の活用	歴史博物館で、多様な世代のニーズにスポットをあてた特別展や企画展を開催。あわせて講演会などを開催する。展示内容や講演会のICT技術を活用した動画の配信などを実施する	・歴史情報発信拠点である歴史博物館を有効活用できていない		活かす	活用	・歴史博物館での地域資源を活用した事業の充実を図る														◎		○						○	○	○	市	市						
23	ボランティア活躍の場の創出	関係部局と連携して、博物館がハブとしての役割を果たし、市民芸員やボランティア等の個々の意欲や素養に応じた活躍の機会を創出する	・歴史情報発信拠点である歴史博物館を有効活用できていない		活かす	活用	・歴史博物館での地域資源を活用した事業の充実を図る														◎		◎			△	○	○	○	市	市								
24	地域資源の教育・学習環境の整備	かすみがうら市の郷土に関する調査・研究を通じて、郷土の誇りと愛情が醸成されるように、学校と連携し、資料公開の環境を整備する	・歴史情報発信拠点である歴史博物館を有効活用できていない		活かす	活用	・歴史博物館での地域資源を活用した事業の充実を図る														◎	△	○					○	○	○	市	市							

事業No.	事業名 (措置の名称)	事業内容 (内容)	課題	基本方針		実施方針	行政	管理者	民間	関連機関	その他	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	財源	重点措置
25	地域資源の活用と新商品プラン考案	6年生（小6）から8年生（中2）の3年間を通して、「子どもミライ出前授業」で市の現状を学び未来について考え、それをふまえて、市の資源を活用した新商品プランを考える	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
26	芸術・文化とのふれあい	文化団体の活動などの情報を積極的に発信するとともに、市民が芸術、文化に触れる機会の創出をする	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充実していない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく ・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく	◎		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
27	習慣・生活文化の体験講座	昔からの習慣・生活文化を学ぶ講座や体験教室、歴史刊行物の作成発行し、郷土に対する誇りと愛情が醸成される多様なふるさと教育を推進する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
28	「地域を知る」機会の創出	各種イベント、地域ポイントシステム等を活用しながら、市民が地域資源や観光スポットなど「地域を知る」機会を提供する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎	△	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
29	デジタル技術による文化活動の動画配信	文化団体の活動の発表の場をSNSや動画配信サービス等も活用しながら安定的に提供し続ける	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
30	総合的な文化活動の情報発信	活動内容等の情報を広報紙や市ホームページ等に掲載し、市民への周知を図る	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
31	美術館・博物館の情報発信	美術館や博物館等の情報の収集に努め、広報紙や市ホームページ、SNS等を活用して情報を提供する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
32	芸術・文化活動支援の体制整備	市民が芸術・文化活動を発信できる機運の醸成と、多様な創作・表現行為を受け入れる体制や意識啓発を図る	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎				△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
33	芸術・文化活動支援の環境整備	公共施設などにおいて市民が気兼ねなく芸術・文化活動に取り組むことができる環境整備を推進する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎				△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
34	地域資源活用の環境整備	指定文化財の説明板や案内板を計画的に設置し、地域資源活用を推進する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎	△			△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
35	筑波山地域ジオパークの観光資源としての活用	筑波山地域ジオパークのジオサイトなどを観光資源として活用する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
36	歩崎公園での外国人観光客へのサービス向上	歩崎公園での英語対応やクレジットカード決済を検討していく。また、Wi-Fiを完備させ、外国人観光客への活用とサービスを充実させる	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎	△	◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
37	地域資源・ジオパーク・観光資源の一体的な郷土教育への活用	関係部局と連携し地域資源・ジオパークを観光資源や郷土教育の教材として活用した事業を積極的に実施する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
38	歩崎公園の活用	歩崎公園の観光施設やレクリエーション施設と歴史博物館が連携し、地域活性化につなげる	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
39	歩崎地区の施設のPR	歩崎地区について、ガイドブック、Web等の中で特集等を組みながら観光マップを作成し、市内外の観光関連施設等で配布する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
40	地域資源の認知度向上	市内の人々に対し、市域に残る地域資源を知ってもらい、大切に守り伝えていただけるよう、地域資源を取り扱った教育普及事業の充実を図ると共に文化財一斉公開事業等を実施しながら、市域の地域資源の認知度を高める	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会が少ない	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく ・文化的資料等を展示・公開し、郷土の歴史・文化に触れる機会を多く設けていく	◎	△	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
41	サイクリング利用促進	地域資源をサイクリングで巡る事業を充実させる	・サイクリングのポイントとして、地域資源の活用が図られていない	活かす	活用	・サイクリングのポイントとして、地域資源の活用を図る	○		◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
42	筑波山地域ジオパークの活用	筑波山地域ジオパークの自然や歴史、民俗、文化を郷土教育や観光ツーリズムの資源として活用する	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	

事業No.	事業名 (措置の名称)	事業内容 (内容)	課題	基本方針		実施方針	行政	管理者	所有者	民間	関連機関	その他	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	財源	重点措置
43	出前授業による郷土教育	学芸員等による出前講座を継続実施し、市内の小中学生の郷土教育を進める	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
44	「おもてなしの心」醸成（小中学生対象）	観光マップ等の作成や地域資源の発掘活動を行い、小中学生に地域に対する愛着を深めてもらい「おもてなしの心」を醸成する	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
45	まちづくり人材の育成	社会科副読本「かすみがうら」の作成や地域事業者と連携して地域の魅力や実情を学び未来のまちづくりを考える人材の育成を行う	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
46	映像学習：中1向けの子供ミライワークショップ	子どもミライワークショップ（7年生（中1））で映像学習を実施する。「市の資源について」市の歴史や産業、資源、ジオパークなどについて学ぶ事業を継続する	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
47	「かすみがうら子どもみらい学習」による郷土教育	地域産業に従事する方を講師として招き、地域資源を活かした商品企画や流通を学ぶ「かすみがうら子どもミライ学習」を通した郷土教育を推進する	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
48	「子供ミライマルシェ」販売体験	「子どもミライワークショップ」において、「子どもミライマルシェ」実施。新商品の販売を体験する事業を継続する	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
49	副読本「かすみがうら」のデジタル化	歴史や文化、産業、自然環境等をまとめた「かすみがうら」を作成し、副読本として小学校の授業で活用するとともに、「かすみがうら」のデジタル化を進める	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）が充分でない	活かす	活用	・学校関連のアウトリーチ（体験・鑑賞等の芸術普及活動）を充実させていく	◎		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
50	「偉人」の情報発信	市域の「偉人」を対象にした「先人マンガシリーズ」の作成やSNSを活用した情報発信を行っていく	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
51	出前博物館	学芸員や市民学芸員を派遣する「出前博物館」等の多様な世代に沿った周知や理解を深める事業を継続する	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく	◎		◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
52	芸術・文化活動の「場」創出	市民が実行委員となり企画・運営するふれあい生涯学習フェア（市民文化祭）を開催していく	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育の満足度が低い	活かす	活用	・歴史文化によるふるさと教育の推進や伝統・文化に関する教育を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
53	歴史博物館の改善	来館者の見学導線や館職員の業務導線などの改善をする。資料の展示・保管に関わる照明・空調等、防火・防犯に関する設備の整備などを進める	・設置から30年以上経過した歴史博物館の改善が図られていない	仕組みを構築	整備	・地域資源の解説板、案内板の未整備箇所への設置と老朽化箇所の修繕を実施する ・設置から30年以上経過した歴史博物館の改善を図る	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国・市	○
54	歴史博物館の公開承認施設化	国指定文化財の茨城県鳳返稲荷山古墳出土品等、国宝・重要文化財を展示・公開することができる公開承認施設に向けて、歴史博物館を整備する	・設置から31年以上経過した歴史博物館の改善が図られていない ・専門的知識や技術を有する学芸員を継続して確保できていない	仕組みを構築	整備	・設置から30年以上経過した歴史博物館の改善を図る ・専門的知識や技術を有する学芸員を継続して確保する	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国・市	○
55	拠点施設の充実	志筑地区の地域資源を紹介する拠点施設を整備する	・楽しみながら学べる拠点が無い	仕組みを構築	整備	・志筑地区等、歴史博物館以外の場所にも楽しみながら学べる拠点施設を充実させていく	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国・市	
56	地域資源保護・保存の担い手、後継者の確保	各地域の人々が地元の伝統や文化を継承できるように担い手の確保と後継者育成の仕組みを整える	・市民学芸員の継続的な養成・確保ができていない	仕組みを構築	整備	・市民学芸員を継続して養成し、確保する	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
57	文化継承への取組	市民や各種団体の自律的な文化の継承と活用に向けた担い手の育成と体制づくりを図る	・市民学芸員の継続的な養成・確保ができていない	仕組みを構築	整備	・地域資源を保存・継承する仕組みを整備する ・市民学芸員を継続して養成し、確保する	○		◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
58	ボランティア人材の育成	市民学芸員や観光ボランティアなどの人材を育成する養成講座等の機会を増やす	・市民学芸員のメンバーの固定化による人材不足	仕組みを構築	整備	・市民学芸員を継続して養成し、確保する	◎		◎	△			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
59	市民学芸員の養成と確保	市民学芸員の養成を図るため、博物館学芸員等が講師となるセミナー等の機会の充実を図ると共に市民学芸員の増員を図る	・市民学芸員のメンバーの固定化による人材不足	仕組みを構築	整備	・市民学芸員を継続して養成し、確保する	◎		◎			△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
60	市民学芸員制度の整備	市民学芸員制度の充実を図る	・市民学芸員のメンバーの固定化による人材不足	仕組みを構築	整備	・市民学芸員を継続して養成し、確保する	○		◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
61	学芸員の確保	専門的知識や技術を有する学芸員の継続的な確保、増員を図る	・専門的知識や技術を有する学芸員の人員不足	仕組みを構築	整備	・専門的知識や技術を有する学芸員を継続して確保する	◎					△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
62	地域資源保存施設の維持管理	地域資源の保護、保存のため歴史博物館、富士見塚古墳公園展示館の維持管理を継続する	・設置から30年以上経過した歴史博物館の老朽化が顕著	仕組みを構築	整備	・設置から30年以上経過した歴史博物館の改善を図る	◎		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市	
63	千代田地区の拠点施設充実	千代田地区に地域資源を紹介する拠点施設の整備を検討する	・楽しみながら学べる拠点が無い	仕組みを構築	整備	・志筑地区等、歴史博物館以外の場所にも楽しみながら学べる拠点施設を充実させていく	◎		○	◎			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国・市	

※基本方針
「地域資源の価値を理解し再発見する」は、「再発見」
「地域資源を守り未来へ継承する」は、「守り継承」
「地域資源を今に活かす」は、「活かす」
「地域資源を未来へつなぐ仕組みを構築する」は、「仕組みを構築」と表記しています